

地域と共に
松ノ木中学校

善福寺川沿いに広がる和田堀公園に隣接する本校では、教室の窓から幾重にも重なる緑の木々、校庭を囲む桜の太木が眺められ、とても清々しい気持ちで学校生活を送ることが出来ます。

本校では、生徒一人ひとりを大切にし、明るく、楽しく、そして生徒が活躍できる学校づくりに取り組んでいます。分かる授業を展開し、基礎学力をしっかりと身に付けさせる指導と共に、自らの課題を主体的に追求する意欲的な態度を身に付けた生徒の育成に力を入れています。

また職場訪問・職場体験・上級学校訪問を三年間の中で計画的に設定し、自ら訪問先を探し様々な体験を通して自己の生き方を考えさせると共に、各学年ごとに「地域学習」「自然・環境」「国際理解」などのテーマを設定し、学習を通して課題解決を図っています。



朝の読書活動

学校行事においては、春の体育大会、秋の文化祭を二大イベントとして特に力を入れて実施しています。これらは、生徒の自主的・主体的な活動を促し、学級ごとに一つの目標をもたせて取り組ませています。さて、本校の特色ある教育活動としては全国的にも知られた「朝の読

書活動」があります。これは昭和五十五年から現在に至るまで続く本校の伝統的な活動でもあります。

具体的には毎日午前八時三十分から四十分までの十分間を朝の読書にあてます。本の種類は漫画や雑誌類以外の本であれば何でもよく、持参してきて、図書室から借りた本でも構いません。伝統が息づくとはこのことか…と思える静けさの中一年生から三年生まで真剣に本と向き合っています。

生徒の話を総合すると「中学生になって本をよく読むようになった」「読書が好きになった」「落ち着いて授業に臨める」など大変効果が上がっているようです。

この活動に対して、平成十三年には文部科学省から表彰を受けています。さらに朝の読書活動を支える図書委員会には平成十四年に東京都教育委員会から表彰を受けています。また、地域青少年委員会さんとの協力連携の下、毎学期地域清掃を行っています。清掃用具の準備など担当する整備委員会以外の生徒は完全ボランティアとして参加しています。暑い中、寒い中を学年によって振り分けられた地域のゴミなどを一生懸命集める生徒の姿が見られます。学校と家庭と地域で育てるといふ言葉通り、保護者・PTA、地域の皆様方の多大なご協力とご支援のおかげと深く感謝いたしております。



地域清掃

す。さらに朝の読書活動を支える図書委員会には平成十四年に東京都教育委員会から表彰を受けています。また、地域青少年委員会さんとの協力連携の下、毎学期地域清掃を行っています。清掃用具の準備など担当する整備委員会以外の生徒は完全ボランティアとして参加しています。暑い中、寒い中を学年によって振り分けられた地域のゴミなどを一生懸命集める生徒の姿が見られます。学校と家庭と地域で育てるといふ言葉通り、保護者・PTA、地域の皆様方の多大なご協力とご支援のおかげと深く感謝いたしております。

あんなとこ、こんなところ 地域の身近な 歴史スポット ①

青梅街道の朝

原田 弘

私がこんどこのコラム欄をしはらく担当させていただきます。よろしくお願ひします。

私は、昭和二年（一九二七）今の高円寺南二丁目で生まれました。その頃は高円寺町で、家の看板には豊多摩郡杉並村字高円寺とありました。さて今年（西暦）の上で千十二支で「乙酉」です。酉＝鳥で鶏が代表されています。十二支の酉は酒を盛る器の象形文字から来たのだそうです。サンズイを付ければ酒です。鶏は神代の天照大神の頃すでに人間と親しい関係にあったのでしよう。鶏の鳴声を聞くとはなく、「もう朝だ」と明るい気持ちになるものです。



中野天神前を走る西武鉄道（昭和4～5年頃）

以前は高円寺をはじめ和田堀ノ内松ノ木など農家でなくても何羽かの鶏を飼っていましたから早いのは四時前から時を告げます。すると近くの鶏も鳴き始めます。金鶏曉を告ぐと言うのでしょうか。その声を床の中で聞いて「うつらうつら」、やがて西の井草・田無方面のお百姓さんが野菜など山積みにした牛車が何台もちようちんをぶら下げて新宿の方へ通って行きました。



現在の青梅街道（山崎薬局は右手前6棟目（現・高円寺セレモニホール）にあった）

次に西武電車の始発が車庫から出て、ポールの切換の音が静かな空気の中でよく響きます。やがて牛乳配達達の箱車がガラガラと音を立てて通って行きます。新聞配達の小僧さんが新聞をビツ、ピーツとしごいて店



都電杉並線（廃線直前昭和38年11月撮影）

の戸のすき間から店内に落ちて行きます。あのピーツという音が格好いいと子供達はつい分真似したものです。少し呼吸が要りました。その時刻になると納豆売りの子供が声を張り上げて「つと」に入った納豆を売り歩いていました。ちよつと可愛相な気がしました。

昭和も一ケタ頃までは青梅街道には歩道も並木もなく側こう（小さなドブ）があり時々足を落として叱られた記憶があります。道路の際にも処々に原っぱがあり自動車も少なく、今では考えられない二階以上の建物は山崎薬局の三階を除いて中野坂上まででなかった嘘のような話です。

原田 弘 氏

杉並郷土史会会長・日本歴史学会会員・杉並区文化財保護指導員・日本ベンクラブ会員

西武鉄道

「西武鉄道」は昭和38年12月に廃止となった都電杉並線（14系統）の前身で、明治30年堀ノ内軌道株式会社が高円寺街道の淀橋田無間の内、淀橋駅（深井6キロ）を完成。その後、西武鉄道に買収され、以来、西武新橋線として青梅街道の路線、新宿駅まで走らせていました。昭和26年都に譲渡され都電杉並線となり、地下鉄丸ノ内線開通まで走り続けていたのです。ちなみに、この都電杉並線は都電廃止の最初の路線でもあります。

次号からの予告

- ② 常仙寺の寅葉師
- ③ ぼたもち地蔵の話
- ④ 杉八小にあった

戦時青年学校

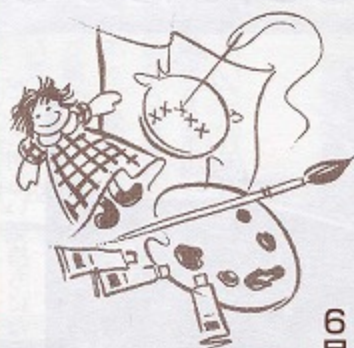
♡お仲間になりませんか♡

グループ名	セシオン蘭友会
練習日	月1回 日曜日 午後
講師名	いちのまこお 市野 正雄
代表者	こんどう よしこ (連絡先) 近藤 佳子 03 (3316) 9222
ひとこと	美しい洋蘭を自分で咲かせてみませんか。温室がなくても大丈夫!

セシオン杉並まつり2005

開催日 平成17年6月4日(土) 10時～4時
6月5日(日) 10時～3時

グループ発表、展示作品募集



会場	ホール	第1・2和室
日時	6月4日(土) 午前10時～午後3時	6月4日(土)午前10時～午後2時 6月5日(日)午前10時～午後2時
持ち時間	30分 準備・後片づけを含む	30分 準備・後片づけを含む
募集团体数	8グループ	両日で6グループ

グループ発表、展示作品募集

- ◎参加資格
- ①セシオン杉並に、さざんかード登録をしているグループ
 - ②次の地域に在住、在勤の方々を中心としたグループ
- 梅里1丁目・松ノ木2～3丁目・和田1～3丁目・堀ノ内2～3丁目・高円寺南1～5丁目・高円寺北1～4丁目
- ◎申し込み方法
往復ハガキに「セシオン杉並まつり参加希望」と明記し、
- ①グループ名
 - ②代表者名
 - ③住所
 - ④電話番号
 - ⑤参加内容(展示作品、演目などを詳しく)を明記し返信用に自分の宛名を書き、(杉並区梅里1-22-32 TEL3317-6614) 高円寺地域区民センター・セシオン杉並まつり実行委員会宛お送り下さい。
- ★締切日/3月31日(木) 必着
(申し込み多数の場合は抽選)

展示作品

◎展示会場

展示室(1階)

第6、7集会室(3階)

◎申し込み注意事項

- ①グループ名・代表者名(連絡先・電話番号)・作品の種類・展示方法(壁・机・パネルと机)の中から一つを選んで明記してください。
 - ②作品の種類による占有面積については一任させていただきます。
 - ③抽選及び説明会にご出席ください。
- ◎抽選会及び説明会日時
4月17日(日) 午前10時
(会場) セシオン杉並
第8・9・10集会室(3階)

ホール・第1・2和室

◎申し込み注意事項

- ①申し込みハガキに出演日、出演会場を明記してください。
 - ②お申し込みは1グループ1ヶ所のみ。
 - ③出演の順番については一任させていただきます。尚、三年連続出演不可(ホールのみ)。
 - ④抽選後、当選されたグループは引き続き説明会にご出席下さい。
- ◎抽選会日時
4月17日(日) 午後1時00分
(会場) セシオン杉並
第6・7集会室(3階)

フリーマーケット出店募集

日時 平成17年6月4日(土)

午前10時～午後4時

平成17年6月5日(日)

午前10時～午後3時

場所 セシオン杉並

第8・9・10集会室(3階)

一区画約1.8m×2m

対象 区内在住の方 各日18組

(業者は不可)

参加費 一、〇〇〇円

◎申し込み方法

往復ハガキに

「フリーマーケット希望」

①住所

②氏名

③電話番号(日中連絡のつく番号)

④出店希望日

⑤出店品名(食料品、電気製品は不可)

以上を明記し、返信用にご自分の宛名を記入の上、高円寺地域区民センター・「セシオン杉並まつり」

実行委員会宛お送りください。

★締切日/3月31日(木) 必着

(申し込み多数の場合は抽選)

★出店決定者は5月15日(日)

(会場) セシオン杉並

第8・9・10集会室(3階)

午後一時半からの説明会に必ず

ご出席ください。

★次号発行は

5月20日号です。